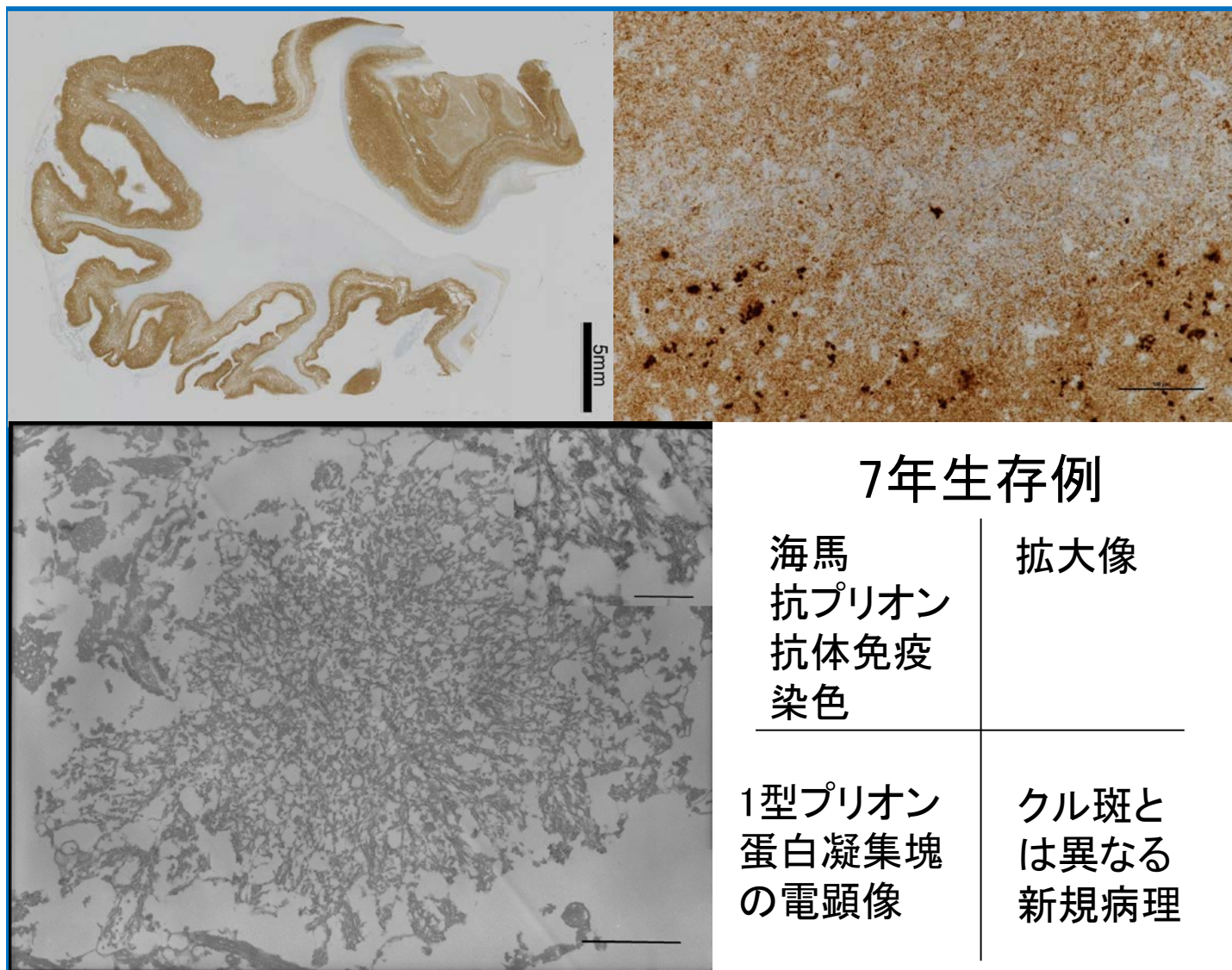


古典的クロイツフェルトヤコブ病長期生存例での プリオン蛋白凝集

研究分担者: 東京都健康長寿医療センター 村山繁雄



解説

1. プリオン病は、本邦では生存期間が長い。古典的クロイツフェルトヤコブ病（I型プリオン蛋白蓄積、プリオン遺伝子129番コドンが両方メチオニン）の長期生存例で、クル斑とは組織化学、電顕像が異なる凝集塊の多発を認めた。
2. 本邦では欧米に比し、長期生存例が多く、共通して認められる所見として、今後の診断において、注目していく必要がある。